

一般社団法人 子どもと家族のQOL研究センター
2023年度秋季シンポジウム

入院したって学校へ行きたい！ ロボットの導入で復学をスムーズに

基調講演

● 「勉強も大事、でも友達はもっと大事」

— 学習意欲の維持、級友たちとの交流の機会を作るなど、
入院中のこども達が安心して復学できるようICT利用での学校参加 —

井上 富美子

(小児がん対策国民会議共同代表・
NPO法人ミルフィーユ小児がんフロンティアーズ前理事長)

シンポジウム

● 「ICTを活用した前籍校との交流・復学支援」

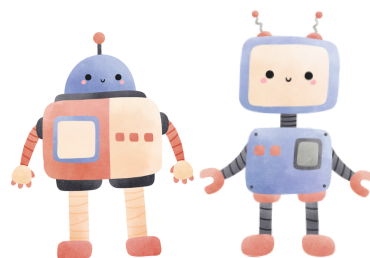
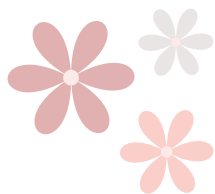
竹村 由香理

(埼玉県立けやき特別支援学校教諭)

● 経験者から

● 経験者と家族から

司会：岩井艶子・前田美穂
(子どもと家族のQOL研究センター)



日時

2023.
10/29 (日)
13:30-16:00

会場

Zoom
オンライン開催
(予約制)

開催趣旨

日本では、年間2,000人ほどの子どもが小児がんになり患いますが、その約半数が児童・生徒になります。病院には、併設された特別支援学校があったり、院内に特別支援学校の分教室があったり、教員が派遣されている訪問学級があったりする場合があります。入院中の子どもたちは、これまで通っていた学校から病院の学校（院内学級）に転校して教育を受けることができます。院内学級での学習や闘病中の仲間との交流体験も大事な成長の糧になります。ただ小児がんの治療は、半年から1年間という長期間の入院を必要とする場合が多いため、入院中、前籍校の先生やクラスメイトと交流を継続することが、復学をスムーズにする鍵であることは、以前より指摘されてきました。近年、子どもたちが大好きな最新のロボットやICTを用いた復学支援が、試行されています。このシンポジウムでは、支援の現状と、経験者の声をお聞きして、これからの復学支援についてディスカッションしたいと思います。

演者



基調講演者

井上 富美子（小児がん対策国民会議共同代表・NPO法人ミルフィーユ小児がんフロンティアーズ前理事長）

1997年千葉県内の小児がん医療施設（6施設）の医療者からの声掛けで、任意団体「菜の花会」を立ち上げ、のちに認定NPO「ミルフィーユ小児がんフロンティアーズ」と名称を変え、より多くの支援者と連携し、小児がん患児・家族・そして小児がん経験者への支援活動を継続している。昨年、理事長職を退き、現在は名誉理事長として活動を補佐している。自身の次男も小児がん（神経芽腫）経験者で、現在、二次がんなどの問題を克服しながら、社会人として自立している。2021年、「日本小児血液・がん学会」と「日本小児がん研究グループ(JCCG)」の支援を受け、「小児がん対策国民会議」を立ち上げ、西欧に比べ大きく遅れている小児がん治療薬の開発・臨床試験の促進を目指した活動、そして教育に関する諸問題の解決/教育環境の改善に向けた活動を主として展開している。



シンポジスト

竹村 由香理（埼玉県立けやき特別支援学校教諭）

埼玉県内の小学校、特別支援学校に勤務。2016年埼玉県立小児医療センターに併設している埼玉県立岩槻特別支援学校に異動し、特別支援教育コーディネーターとなる。入院中の小児がんのお子さんや保護者様のために、入院中の不安の軽減や前籍校との連携や安心した復学支援になるように努めている。また、退院後も、いつでも相談にのることができるようにセンター的機能を活用して、常に寄り添うことを心がけている。（12月に病院のさいたま新都心移転に伴いけやき特別支援学校に名称変更）

参加登録

- 対 象 : 小児がん経験者やご家族、
小児がん経験者を応援する教師・医療者・心理職・保育士・学生の皆さん
- 会 場 : Zoom（定員 先着100名）
- 登録期間 : 2023/9/12（火）～10/25（水）（予約制）
- 登録方法 : 右記QRコードからお申込みの上、参加費をお振込みください
- 参加費 : 経験者及びそのご家族は選択式で<0円・1,000円・2,000円・3,000円>より自己選択
一般参加者は3,000円（返金不可）



参加費振込先：三菱UFJ銀行本郷支店 普通預金 0309933

一般社団法人子どもと家族のQOL研究センター 代表理事 上別府圭子

- ※申込みおよび参加費の振込をもって参加登録とさせていただきます
- ※ご寄付も歓迎します。小児がん啓発事業に活用させていただきます
- ※登録確認後、10月27日前後にZoom用URLをお知らせします

